

人工透析室

「～子育て世代が活躍しています～」

人工透析室では、医師、看護師、臨床工学技士、看護補助者、クレークがチームとなり、できる限り患者様の生活の質を落とさず、その人らしく透析生活を送れるよう支援しています。

透析患者さんは透析治療のために1日おきに約4時間ベッド上で過ごします。1年に換算すると約1か月間横になっていることになるそうです。又、加齢や病状に伴う身体機能の低下により日常生活に介助が必要になる方も増加しています。当院では2023年1月より透析時のリハビリを導入しました。さらに、透析を行うことで抹消循環が悪くなり、小さな傷でも治りにくく、切断に至るケースが多くあります。当院ではフットケア専門の看護師が爪きりや踵のケアをして「足」を守ります。下肢の切断ゼロはその成果のたまものです。透析は週3回通院してくる患者様なので、ゆっくり時間をかけて関わることができます。

又、ワンフロアのためお互いの動きが分かりやすく、何かあるとすぐに助けあえる環境となっています。毎月2回の安全の勉強会や年3回の急変時訓練も全員で実施しています。日頃から訓練し万が一に備え、透析室の強みとも言えます。

スタッフは子育て中や、子育てが終わったスタッフまで幅広い年齢層です。とても子育てに理解があり、急なお休みにも協力できる体制にあります。

専門的な分野ですが、“一緒に学ぶ”“一緒に成長する”“一緒に乗り越える”をモットーに、患者様に寄り添い、またスタッフ同士も寄り添いながら、笑顔が耐えない楽しく看護ができる職場です。

透析に来るのが楽しいです！

歩く速度が速くなったと言われました。

透析時リハビリの様子



看護師。臨床工学技士です。
多職種で協働しながら楽しく業務しています。
性別・年齢関係なく透析室スタッフとして自信をもっています。